

第59回 Pitch to the Minister 懇談会“HIRAI Pitch” 議事概要

1. 開催日時・出席者等

- 日時：令和元年7月31日(水)13:00～14:00
- 場所：中央合同庁舎8号館10階 平井国務大臣室
- Pitch テーマ：労働人口減少時代におけるHRテックの活用による採用改革、生産性向上について
- 招へい者：飯田悠司(いいたゆうじ)株式会社リーディングマーク代表取締役
- 出席者：平井国務大臣、別府内閣府審議官、赤石総括官、三輪政府CIO(IT)、吉田参事官(IT)、三又局長(知財)、渡邊次長(知財)、永井参事官(科技)、篠崎企画官(科技)、杉本補佐(知財)、寺井秘書官、西山秘書官、柴山秘書官

2. 飯田氏からの説明

- 株式会社リーディングマークでは、行動心理学の理論で企業の社員や候補者の性格を可視化するプラットフォームを運営し、HRtechにより個々人に合ったキャリアを推薦するサービスを提供している。
- 従来は就職した学生の評価軸が学歴程度しかなく、それ以外の性格・能力については玉石混淆の採用となっており採用活動の費用対効果が比較的低かった。これを克服するため、性格をデータ化・数値化することを考えた。ただし、性格の数値化といっても、その数値の高低が善し悪しを示すものではない。また、同じ業界、職種でも企業によって、活躍している人材の性格データの傾向も異なっている。こういった特徴をうまく活用し、マッチングに活用している。
- こうした取組により、中小企業への応募者数の増加及び応募者見極めの質の向上を図ってきたい。

3. 質疑応答・議論

- 性格は企業のマッチングにとどまらず、例えばスタートアップに向く性格か否かということも分かるため、そもそも就職すべきか起業すべきかといった判断の助けにもつながるのでは、との意見があった。
- 性格には先天的性格、後天的性格及び行動特性・コンピテンシーの3層があるとの学説もあり、そのため人の性格もゆるやかに変わりつつある。このような個人の考え方の変化もとらえつつ人材の活用を行うことが重要ではないか、との意見があった。
- 職業選択に当たりスキルの有無が重視される欧米と比較すると、日本企業は性格が合うかを重視しがちとの文化的背景も踏まえ、性格データの活用が企業の事業の成功可否といった成果にどれだけ結びついているか、従業員のエンゲージメントに変化はあるかというフィードバックを得ながら、事業の改善につなげていくことが重要であるとの意見があった。

(了)

(速報のため事後修正の可能性あり)